



2013 開成観光 フォトコンテスト

☎ 産業振興課 ☎84-0317



佳作1席
「憧れの舞」
大坪政文さん（厚木市）



町の年間行事である、開成あじさい祭、あしがら花火大会、開成阿波おどりやあしがら郷「瀬戸屋敷」を中心としたテーマで作品を募集したところ、町内外から84人308点、15歳から84歳まで幅広い年齢層の方々から応募をいただきました。

審査の結果、推薦・特選・入選・佳作作品合わせて20点が選ばれました。今回は、顔の表情に楽しさを感じるものなど、様々な表情を撮影した作品が多く入選したのが特徴です。

次の4作品は表紙に掲載しています。

講評：特別審査員 柴田博司さん（写真家）

佳作2席「瀬戸屋敷の印象」
小崎敬司さん（二宮町）



佳作4席「仲良し」
田中敏夫さん（横浜市）



佳作3席
「アジサイ鑑賞会」
中村雄二さん（秦野市）



佳作5席「お屋敷に春風吹く」
山口ヤス子さん（開成町）



佳作6席
「町から見る富士」
齋藤 齋さん（平塚市）



佳作7席
「いらっしゃいませ」
小浦忠男さん（秦野市）



佳作8席
「小雨降る紫陽花の道」
石井良二さん（南足柄市）

①推薦 町長賞「ぼく カッコイイ？」
城戸和子さん（小田原市）

子どもの可愛い最高の一瞬を見事に捉え、また、瀬戸屋敷という最良の場所の中で収められた作品だと思います。おじいちゃんとおじいちゃんの楽しい会話が聞こえてくる様な、そして上に飾られた鯉のぼり、黒光りする床、写真の重さ、存在感が見事に収められた作品です。

②特選 商工振興会長賞「夜空に舞う花」
下川勝利さん（小田原市）

花火を撮るのは非常にテクニックが必要な被写体ですが、しっかりした技術の中で撮影されて、花火の大きさ、スケール感を見事に表現した作品です。

③特選 議会議長賞「ファミリー」
萩野悦男さん（開成町）

気持ちのいいクローバーの広がる草原で、二家族の楽しい風景の中に、花、水田の緑、クローバーも効いており、いろいろな要素を一つの画面に安定した構図で捉えられた作品です。

④特選 教育長賞「みんなそろって」
瀬戸眞美さん（小田原市）

阿波おどりの楽しい風景を真正面からきちんと捉えている正当な作品で、一人ひとりの表情が眺められるフレミングは簡単にできるものではありません。一瞬のシャッターチャンスを見事に捉えられた作品です。



入選5席「秋影」
門脇光一さん（座間市）



入選2席
「日焼した夏の終わりに」
成瀬 定さん（厚木市）



入選1席「鮮やかに揺れる短冊」
平野史子さん（大井町）



佳作10席「ご案内」
佐野輝夫さん（南足柄市）



佳作9席「きれいだね」
青木房雄さん（秦野市）



入選6席
「初夏の瀬戸屋敷」
本間浩一さん（小田原市）



入選4席「阿波鈴鈴」
磯崎洋三さん（南足柄市）



入選3席「収穫始まる」
伊藤良一さん（平塚市）